

2014年（平成26年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	II-1 低炭素・省エネルギー社会の構築	施策 No.	9	施策名	森林整備によるCO2 吸収の推進
-----	----------------------	--------	---	-----	------------------

目的、内容	優先的に整備すべきエリアを設定し、公的な森林整備を重点的に実施するとともに、地域住民や企業など多様な主体の参画のもと、エリアに応じた効果的な森づくりを推進する制度を創設				
副次的効果、外部効果等	①森林のもつ生物多様性の保全、景観、水源涵養、防災、レクリエーションの場の提供など多面的な効用の増進に資する。 ②地域とともに森づくりにかかわることにより、コミュニティの強化、観光・教育・福祉の効果などの効果が期待できる。				
関係法令、行政計画等	①大阪府自然環境保全条例： ②大阪府地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（2012年3月）：計画の本分野の行動計画として進行管理を実施 ③放置森林対策行動計画（2013年12月改定）				
国等の政策、社会情勢等	施策 No.4「低炭素化の推進（家庭）」参照				
施策実施に要したコスト（職員人件費を除く）	事業のコスト（千円）		2011年度（決算額）	2012年度（決算額）	2013年度（決算見込額）
	環境目的の	本施策が主たる目的であるもの	0	0	0
	事業費	本施策が従たる目的であるもの	1,253,552	716,948	359,772
	環境以外の目的を含む事業費		0	0	972,079
取組指標及び実績（施策効果の定量評価）	名称	把握方法	実績		
	① 間伐の実施面積	府地球温暖化対策実行計画の進行管理において把握	1,197ha（2011年度）、343ha（12年度）、700ha（13年度） 885ha（2001～10年の平均）		
	② 間伐材の利用量	同上	5,336m ³ （2011年度）、6,210m ³ （12年度）、7,455m ³ （13年度）		
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況	
	間伐の促進 2010-12 目標 3,203ha 2013-16 目標 4,000ha	☆	森林造成事業、森林整備加速化・林業再生事業 ほか	間伐実施面積 2010-12 年度：2,758ha 2013 年度：700ha	
	森づくりを推進する制度の促進				
	新たな森づくり制度の創設・実施 保全すべき森林エリアの設定	☆☆	林業活動促進地区制度	2013 年末時点で 4 地区を認定	
	地域森づくり組織の設立 地域住民等による面的森林整備	☆☆	森林・山村多面的機能発揮対策事業	大阪さとり地域協議会への支援を通じた、里山保全活動の促進 2013 年度 46 団体 210ha で整備を実施	
	公的関与による森林整備	☆	森林造成事業、森林整備加速化・林業再生事業 ほか	主な実績は上記の通り	
	企業による森林整備（アドプト・フォレスト）	☆☆	アドプト・フォレスト	2013 年度末時点で 46 社・団体が 37 箇所で開催	
※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗／☆☆計画どおり／☆計画以下の進捗／△計画とは異なる事業内容で進捗					
評価	評価	理由等			
	施策目的の達成状況	一部指標は順調に進捗していない	取組指標①は工程表の目標を下回っている。取組指標②は上昇傾向にある。 2012 年度の国庫交付金事業の一部終了、及び、2009～2011 年度の間伐実績を牽引してきた国の定額補助事業について、2012 年度からは搬出間伐を採択要件とするなど国の制度見直し等があったことから、間伐実施面積が大幅に減少した。		
	事業・工程の進捗状況	一部を除き、計画どおり進捗していない	間伐面積は工程表の目標を下回っている。		
計画見直し又は改善事項	見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等			
	目標	有	「今後の温暖化対策について」（H26 年 11 月 府環境審議会答申予定）の「森林吸収の推進」における取組みの方向性の観点から、見直しを検討		
	施策の方向・主な施策	有			
	工程表	有			
	その他の改善事項	無			
関係課室	みどり都市環境室				

環境総合計画部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	評価手法は適正である。	評価結果は適当である。	間伐の促進について、2013 年度の実績ベースでは 2013-16 目標の達成が難しく、何らかの追加的な施策が検討される必要がある。